

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	カムカムメニューの普及活動
事業主体 (連絡先)	松本歯科大学 社会貢献・地域連携推進センター TEL: 0263-51-2188
事業区分	保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,120,942 円 (うち支援金: 792,000 円)

事業内容

健康な口腔機能を維持することは、命を守るための栄養補給はもとより、人々の生活を高い質で営むために非常に重要である。食べるための「口の健康」の意識を地域ぐるみで考え、高めていくことは健康寿命を延伸するために必要である。食材や調理法を工夫して、よく噛んで食べると美味しく食べることができる「カムカムメニュー」を普及させるためカムカムメニュー料理教室、写真コンテスト、講演会、試食会を開催した。地域住民の「食」への意識を高め、食生活に関する啓発活動を展開し、地域住民の健康寿命延伸や活気ある地域社会の構築に大学が貢献することを目指している。



【料理教室の様子】

【目標・ねらい】

食べるための「口の健康」の意識を地域ぐるみで考え、地域住民の健康寿命延伸や活気ある地域社会の構築に大学が貢献すること。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

カムカムメニューの普及を促すために、料理教室、写真コンテスト、講演会および試食会を開催した。料理教室では定員を充足する申し込みがあり、参加者一同、よく噛んで食べることに理解を示していた。写真コンテストは過去最高の66件の応募があり、普及活動が定着してきたことを感じさせる応募数であった。また、試食会にも昨年を上回る数の参加が得られた。参加者から、食の大切さを実感したので、日常の食事を工夫してカムカムメニューを実践して行きたいとの意見を聞くことができた。

※自己評価 【 B 】

【理由】

写真コンテストの応募数が過去最高となり、料理教室、講演会および試食会の参加者も多かった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

カムカムメニューへの関心を高めることができていると思う。しかし、日常的な食事にカムカムメニュー取り入れたりができているかは把握できていない。口の健康維持がカムカムメニューの実践と結びついていくという点を視野に入れて今後の取り組みを考えたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある